






家庭用蓄電システム ESS-H-002006B2A 取扱説明書 正誤表

取扱説明書に変更がありますので、以下に示します。

ページ	位置	正誤内容	
10	1-2 各部の名前と はたらき	変更前	<操作パネルの表示>  ◀ 電池残量 残量 : 50% ▶
24	3-3 運転モードの設 定		
25	4-1 操作パネルの	変更後	<操作パネルの表示>  ◀ 電池残量 12:34 残量 : 50% ▶
26	画面で確認する		
30	5 故障かな？ と思ったら	変更前	記載なし
		変更後	<操作パネルの表示> コールセンターにご連絡下さい はい:○ <説明> 本システムの重要負荷側に過大な電力を検出 <対処法> ① NECスマートエネルギーサポートセンターに連絡し、 指示に従ってください。 ② 操作パネルの  ボタンを押してください。
32	6 お手入れの仕方	変更前	記載なし
		変更後	<3.メンテナンスモード時にご注意いただきたい点> ピークカット運転モード(⇒ P.18)でお使いの場合、メンテ ナンスモード中はピークカット運転の設定を無効化して動 作します。
33	7-1 停電時の対応	変更前	<操作パネルの表示>  非常運転 放電 : 1.0kW
		変更後	<操作パネルの表示>  非常運転(停電中) 放電 : 1.0kW



33	7-1 停電時の対応	変更前	<p><注意> <u>本システムの停止後、バックアップ電源により、システムコントローラが約 30 分待機状態となります。バックアップ時間が終了すると、停電中の本システムの再起動(太陽光発電システムの電力供給による等)ができなくなります。</u>できるだけ電池残量 0%とならないよう、操作パネルの電池残量低下のメッセージ表示後は、重要負荷用コンセントに接続した家電製品を減らす等の対処を行ってください。</p> <p>また、非常運転中にシステムコントローラの電源オフ-オン動作を行うとシステムコントローラをオンとなることができず停電中の再起動ができなくなります。</p> <p>なお、システムコントローラの停止後も電力復旧を検知すると再起動します。</p>
		変更後	<p><注意> <u>停電中に本システムが停止すると、復電まで本システム再起動が出来なくなります(太陽光発電システムからの再起動不可)。</u>できるだけ電池残量 0%とならないよう、操作パネルの電池残量低下のメッセージ表示後は、重要負荷用コンセントに接続した家電製品を減らす等の対処を行ってください。</p> <p>また、非常運転中にシステムコントローラの電源オフ-オン動作を行うとシステムコントローラをオンとなることができず停電中の再起動ができなくなります。</p> <p>なお、システムコントローラの停止後も電力復旧を検知すると再起動します。</p>

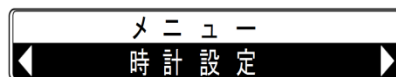
家庭用蓄電システム ESS-H-002006B2A の時計設定について

メニューの「時計設定」から日付と時刻の設定ができます。

日付と時刻をあわせる場合、以下の操作で設定します。

1. 設定メニュー画面で矢印ボタン(左◀/右▶)ボタンを押して「時計設定」を選択し、ボタンを押します。

時計設定画面が表示されます。



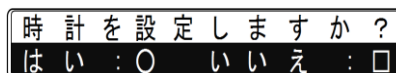
2. 日付と時刻を入力します。

矢印ボタン(上▲/下▼)を押すと、選択している桁の数値が増減します。矢印ボタン(左◀/右▶)を押すと、選択している桁を変更します。ボタンを押すと、入力した値が確定され、時計設定の確認画面に進みます。



3. 確認画面が表示されたら、ボタンを押します。

- ボタンを押すと時計を設定し、設定メニューに戻ります。
- ボタンを押すと時計設定は変更されず、ひとつ前の時計設定画面に戻ります。



注意

- 本システムは設定されている充電開始時刻/放電開始時刻に従って動作いたします。正しい日付と時刻を設定してください。



メモ

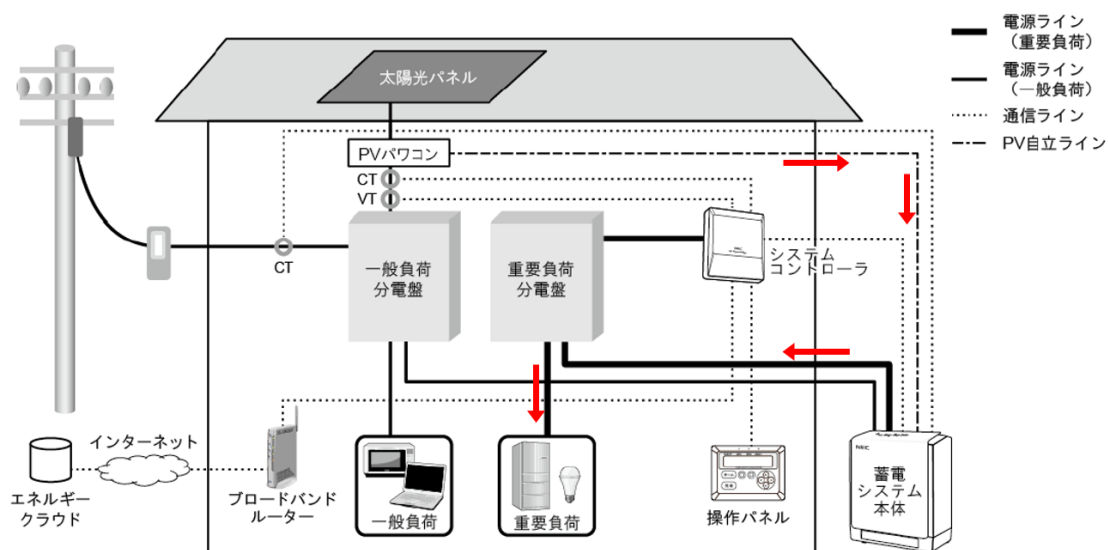
- ネットワークに接続されている場合、定期的に時計の時刻同期が実施されます。
⇒ネットワークの接続方法については、取扱説明書の「1-3. ネットワーク接続について」をご確認ください。



856-180373-101-B 2.0版

家庭用蓄電システム ESS-H-002006B2A の停電時の太陽光発電システムとの連携について

停電中、自立運転モードに切り替えられた太陽光発電システムからの電力を蓄電システムに充電できる接続をしている場合、蓄電システムが稼働している間は、電源ライン(重要負荷)を経由して重要負荷分電盤に接続された機器へ電力が供給されます。電池残量が0%になる等、蓄電システムが停止すると、PV自立ラインからの電力は、電源ライン(重要負荷)に出力されなくなります。



→ 停電時のPVパワコン自立出力から出力される電力の流れ
(蓄電システムが稼働中の場合)



- 蓄電システムが停止すると、PV自立ラインからの電力は、電源ライン(重要負荷)に出力されなくなり、重要負荷が使えなくなります。

停電時、できるだけ長い時間、蓄電システムを使用したい(PV パワコン自立出力からの電力を使用したい)場合には、下の表を参考にして、重要負荷コンセントに接続する家電製品の使用量を減らす等の対応をお願いします。なお、使用される家電製品の消費電力は、お手持ちの家電製品の取扱説明書で確認してください。

電池残量	重要負荷の消費電力	使用可能時間(目安)※
30%	100W	4～9 時間
	200W	2～5 時間
	300W	1 時間 30 分～3 時間 30 分
20%	100W	2 時間 30 分～6 時間
	200W	1 時間 30 分～3 時間 30 分
	300W	1～2 時間 30 分
10%	100W	1 時間～3 時間
	200W	30 分～1 時間 30 分
	300W	30 分～1 時間

※電池の状態(劣化)により使用できる時間が変わります。

また、気温が低い場合には、放電時間が短くなる場合があります。

